



学校運営協議会

コミュニティ・スクールについて、思いを語っていただきました。

会長さんにインタビュー



初島小・中学校 学校運営協議会長 ^{くにすけ} 橋本 訓祐 氏



初島の特色として、小学校も中学校も地域の人による学校をサポートする支援員さんがいます。その活用については見直す時期にきているように思います。よい取り組みなので、もっと充実させたいし、もっと広めていきたいですね。

初島地区は、小学生も中学生も少なくなってきました。それも個性の一つとして少人数のよさを出していきたいです。本年度、中学校が環境大賞をもらったこともその一つだと思います。中学生が最も地域貢献していると思うのは、「初中ソーラン」。地域の中でも年に5～6回披露する場があり、地域からの評判も高いです。様々な評価を、活動のモチベーションにしていけたらと思います。

箕島中学校 学校運営協議会長 ^{せいき} 江川 誠基 氏



会長発で、コミュニティ・スクール通信を出してみたいと思っています。特に、普段の生活の中で中学生が活躍できる場を考えたいです。発達段階に合ったかっこいいキーワードが必要で、例えば、「コラボ」。今年はずべての公民館

長さん(4名)が学校運営協議会委員である利点が使えます。中学生と公民館がコラボして、カルチャースクールのポスターを生徒に描いてもらい、集まってきた地域の人たちの活動を写真に撮って通信に掲載し広報するなどはどうでしょう。中学生が高齢者にスマホの使い方を教えるのもいいと思います。通信を見た人から、中学生が地域の中で活動できるアイデアを出してもらえるような形も考えていきたいです。

保田中学校 学校運営協議会長 ^{ひろし} 金川 宏 氏



学校運営協議会は、学校と地域とのコーディネーターとして働いていきたいです。そのために、困り感を含めて地域の思いをつかんでおきたいと思います。

中学生が、将来地域を担う存在となれるよう、今できることを考えていきたいですね。中学生自身も地域を知る中で、できることを考えていったらいいと思います。中学生なら学校運営協議会と接点を持つこともできます。いろいろな経験や体験を中学生のうちにさせてやりたいと思います。大人になって、地元でこんなんやっとなあと思い出してほしいです。10年後、20年後のことを考えて取り組むのが大事だと思います。将来、地域にUターンしてくれたら、すごくうれしいですね。

文成中学校 学校運営協議会長 ^{よしひこ} 山崎 佳彦 氏



自分自身体験を通してさまざまなことを学んできました。昔と比べて今は人間関係を築きにくい状況にあります。だからこそ地域の大人と子供らが関わって人間関係を学んでほしいです。

よりよい人間関係を築く中で、地域への誇りも生まれてくるし、社会人として必要なことも身につけてくるでしょう。体験を重視した取り組みを進めていきたいですね。

中学校統合については、よい形で前に進んでほしいと思います。必要があれば学校運営協議会でも熟議したいです。それぞれの中学校の伝統や地域の事情もあるのでいろいろと難しい点もありますが、統合するまでに考えておく必要があると思います。



裏面もご覧ください。
小学校の学校運営協議会
会長さんシリーズです。



「コミュニティ・スクールだより」は、
有田市ホームページ <http://www.city.arida.lg.jp>
からでもご覧いただけます。

総合トップ ⇒ くらしの情報 ⇒ 子育て・教育
⇒ 教育 ⇒ コミュニティ・スクールについて

おしらせ



港小学校 学校運営協議会長 岩本 泰旨 氏 ひろし



昨年度実施したポイントラリーを今年度も実施し、中心的な取り組みに位置づける計画です。その活動を通して子供たちに、

「自分の住んでいる地域を知ってほしい。」「港町を好きになってもらいたい、誇りに思ってもらいたい。」「将来いったんここを出たとしても戻ってきてもらいたい。」と思っています。

学校運営協議会については、委員の年齢層が幅広く、男女の構成もよく、様々な立場から意見が出されます。みんなが意見を出しやすい雰囲気もいいです。これは、ほぼ毎月集まって会を持ち、顔を合わせている成果だと思います。これからも、港小学校学校運営協議会のよさとして大事にしていきたい点です。

学校運営協議会については、委員の年齢層が幅広く、男女の構成もよく、様々な立場から意見が出されます。みんなが意見を出しやすい雰囲気もいいです。これは、ほぼ毎月集まって会を持ち、顔を合わせている成果だと思います。これからも、港小学校学校運営協議会のよさとして大事にしていきたい点です。

田鶴小学校 学校運営協議会長 伊藤 房次 氏 ふさつぐ



子供たちが、自分の学校や地域の中だけでなく、他の地域との連携も大事にしながら様々な取り組みを進めていってほしいです。

少子化の中で、助け合うことが重要になっています。その点、コミュニティ・スクールの考え方はいいと思います。これは、中学校統合を見据えても必要なことです。

私は、命を育てる教育が特に大事だと思っています。例えば、ヒラメの稚魚一匹を触ることから命の教育につながっていきます。将来、子供たちが地域に戻ってきてほしいというのが正直な思いです。自分のふるさとを誇りに思える子供になってほしいです。「有田市ってええで！見に来て！」と言える子供に！

私は、命を育てる教育が特に大事だと思っています。例えば、ヒラメの稚魚一匹を触ることから命の教育につながっていきます。将来、子供たちが地域に戻ってきてほしいというのが正直な思いです。自分のふるさとを誇りに思える子供になってほしいです。「有田市ってええで！見に来て！」と言える子供に！

箕島小学校 学校運営協議会長 石井 秀明 氏 ひであき



学校運営方針の説明の際に、学校長から避難訓練の方法を一考したいという話があり、会長としても取り組んでいきたい旨を提案しました。学校運営協議会で熟議した内容を受けて、学校と自治会が協力し合っていて進めています。

今年度は、学校運営協議会委員として自治会長さんが入ってくれているので、学校と地域の連携がスムーズです。取り組みの中で、市にお願いしたいことが出てくれば、学校と地域と一緒に要望していけるよう、できることは協力していきたいと思っています。

これからも子供たちにとっても地域にとってもプラスになることを学校運営協議会発で考えていければと思っています。

保田小学校 学校運営協議会長 大崎 哲 氏 さとし



現在、コミュニティ・スクールに係る活動の実行組織として「ワーキングチーム」をつくりつつあります。活動する中で、だれもが参加でき、より実践的な「ワーキングチーム」をつくっていききたいと思います。メンバーには学校運営協議会委員が何名か入る形となります。

活動ごとにメンバーの変更が可能で、柔軟にその都度決めていきます。

子供たちが、保田で生まれ育って保田でよかったと思えるよう地域とのつながりを大切にしてもらいたいと思います。そのためには、大人も子供も互いに学び合える雰囲気づくりが大事。学校運営協議会は、その仕組みを上手く機能させていきたいと考えています。

宮原小学校 学校運営協議会長 秋竹 俊伸 氏 としのぶ



宮原小学校の「地域とともにある学校」に係る一番の特徴的な行事は、7月18日に実施している水害慰霊祭。子供たちと地域の方々が、毎年この日を一緒にむかえることは貴重です。辛い経験をした宮原町にとって、先人を敬い、

命の大切さを感じながら前を向いていく大切な時間となっています。

会長としては、学校運営協議会委員さん方が発言しやすいようにとスタンスを考えています。地域をよく知っている、地域の活動に貢献している方々の意見がたくさん出てこそ、学校運営協議会が活性化すると思います。話しやすい雰囲気の中で生まれてきた案を、さらに熟議し具体的に進める形を大切にしたいです。

糸我小学校 学校運営協議会長 兒島 昭人 氏 あきと



郷土愛が大事だと思いますね。糸我で育って糸我を好きになってもらって、できれば将来、糸我をよくしたいと思い帰ってきてくれたら最高です。それが無理でも夏祭りには帰ってきてほしいと思います。夏祭りをみんなが帰って

くる場にするため、これからも続けていきたいです。

地域発での子供育てを考え、地域で責任を持つのがいいと思います。その一つが「田んぼの学校」。昔から続いていることで問題や課題が出てきたら、リニューアルしながら継続する方向で考えたいです。郷土に根ざしたことを続けることが誇りにつながります。子供の笑顔のために、学校と地域がよりよい関係で取り組みが進められるよう協力したいと思います。